

会議録

会議の名称	第3回あま市文化財保存活用地域計画委員会
開催日時	令和5年3月17日（金）午前10時から
開催場所	あま市美和公民館 2階 会議室
内容	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1)ヒアリング調査の経過報告について</p> <p>(2)あま市文化財保存活用地域計画について</p> <p>(3)その他</p> <p>3 その他</p>
資料	<p>資料1 ヒアリング調査の経過報告（概略）</p> <p>資料2 あま市文化財保存活用地域計画について</p> <p>参考資料 あま市文化財保存活用地域計画作成スケジュール（案）</p>
出席委員	筒井正委員、間野隆裕委員、丸山直哉委員、加藤博紀委員 溝口紘委員、松岡義雄委員、齋藤知明委員
欠席委員	見田隆鑑委員、堀江泰史委員、出井普順委員
事務局	<p>（教育委員会）</p> <p>松永裕和教育長</p> <p>（教育部生涯学習課）</p> <p>鎌倉崇志部長、内山伸也課長、後藤好和主幹、近藤博主幹、 駒瀬直輝主任、渡邊彩希主任、入野真由美係長</p> <p>（ランドブレイン株式会社 名古屋事務所）</p> <p>伊藤克洋、名田瑞希</p>

委員会の経過

1 あいさつ

松永教育長 筒井委員長

2 議題

(1) ヒアリング調査の経過報告について

生涯学習課より説明

ランドブレイン株式会社より説明

<質疑応答>

- ・ヒアリング調査について、地域活動を積極的に行っている地域があるようです。子どもたちが積極的に参加しやすい環境があると親も参加するのではないか。自分たちの地域をよくしようという気持ちになるのではないか。コミュニティ活動が積極的になるといいなと思う。
- ・自然に関して、美和町史でも取扱いが少ないのでとても大切だと思う。水生の生き物に関しては、宮田用水が関連しているかと思われる。

(2) あま市文化財保存活用地域計画について

生涯学習課より説明

ランドブレイン株式会社より説明

<質疑応答>

- ・地域連携について、学校教育と地方行政の連携、社会教育について考える必要があります。総合学習では、地域発信を行っています。その中で、甚目寺を発信し、学校教育と地方行政、社会教育をつなげるものになっています。ただし、評価をする必要があるので学校教育の良さでもあり問題でもある。
⇒小学校ではあま市の歴史文化を学んでいる。また、アートヴィレッジの協力により、七宝焼体験の出前授業を行っている。
地域連携型の中高一貫校ということで、地域学習の環境整備が整うと思われる。
- ・文化の継承は教育無くしてできない。教育はあらゆるベースになるのでいかに続けるかが非常に重要となる。

(3) その他

あま市文化財保存活用地域計画作成スケジュールについて

文化庁との事前協議について

生涯学習課より説明

<質疑応答>

なし

3 その他

各委員から文化財の特徴、歴史文化に特徴や保存活用について

- ・事務局から提示された計画の方向性は、良い方向性だと思う。自然について考える際、それぞれの地域のことを考える。同時に、過去、現在、未来を考えて評価することになる。また、学校現場での子どもたちの取組みを積極的に活用することが重要ではないか。
- ・未指定の文化財が注目されるのは大変良いことだと思います。また、4月1日施行の愛知県の登録制度を活用してほしい。
- ・学校現場と歴史文化の特徴や関連文化財群を反映していきたいと思う。
- ・観光ルートのマップ作りと協力できれば良いと思う。「尾張七宝」「七宝焼」を区別する必要がある。
- ・地域の知識が子どもたちの学習の中で当たり前になることが大事であり、そこには、地元の方があま市の魅力をどこまで感じているかが重要。
- ・あま発未来創造塾を活用できないかと思う。

3 その他

今年度最後となります

令和5年度については、改めて日程調整します。

